

2020年2月5日

ワンショットで 360° の全天球イメージを撮影できるカメラ  
「RICOH THETA SC2 for Business」を新発売  
～不動産業など、ビジネスユースで使いやすいモードを搭載～

株式会社リコー  
リコーイメージング株式会社

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)、リコーイメージング株式会社(代表取締役社長:高橋 忍)は、ワンショットで 360° の静止画や動画を撮影できる 360° カメラ「RICOH THETA(リコー・シータ)」のエントリー機種「RICOH THETA SC2」のビジネス向けモデルとして、「RICOH THETA SC2 for Business」を3月中旬に発売いたします。

「RICOH THETA」は、2013年に世界初<sup>注1</sup>の 360° カメラとして発売以来、これまでの映像表現の常識を超える新たな可能性を秘めたツールとして、さまざまな映像分野で利用されてまいりました。VR(バーチャル・リアリティ)市場の急成長や 360° の映像に対応した SNS の拡大、ビジネス市場における 360° の映像に対するニーズの増加などを受け、RICOH THETA に代表される 360° カメラや関連する技術に対する需要は、今後ますます拡大するものと想定しています。

新製品の「RICOH THETA SC2 for Business」は、ビジネス向けモデル専用のグレーの本体色に、室内・車内の撮影に適した HDR 撮影の設定で撮影ができるプリセット「Room」を搭載しました。<sup>注2</sup>「Room」使用時にはフロントレンズとリアレンズで時間差(Time Shift)をつけて撮影するセルフタイマー機能が使えます。これにより、室内を撮影されることが多い不動産業や、車内を撮影されることが多い自動車販売業などのビジネスユースのお客様にとって、使い勝手のよいモデルとなっています。

「RICOH THETA SC2 for Business」は、「RICOH THETA SC2」と同様に、約 1400 万画素に相当する 360° の全天球静止画と、4K(3840×1920 ピクセル)相当、30fps(フレーム/秒)の滑らかで臨場感あふれる 360° の全天球動画撮影に対応します。また、本体下部の状態表示 OLED(有機 EL ディスプレイ)により、設定モードや電池残量などの各種情報が一目で確認できるほか、セルフタイマーモードへの切り替えボタンにより、カメラ単体での操作がしやすくなっています。

リコーは今後も、360° の画像・映像を日常生活からビジネスユースまで幅広くご活用いただけるよう、事業展開を拡大してまいります。

注1:コンシューマー製品において、水平方向や半球だけでなく、撮影者を取り巻く空間全てをワンショットでキャプチャーできる点において(2013年10月時点。当社調べ)

注2:本モデルには、「RICOH THETA SC2」に搭載されている顔モード、夜景モード、車窓モードは搭載されていません。

製品名	RICOH THETA SC2 for Business
本体色	グレー
価格	オープン価格
発売日	2020年3月中旬

付属品:USB ケーブル、専用ケース

株式会社リコー [www.ricoh.com/ja/](http://www.ricoh.com/ja/)

リコーイメージング株式会社 [www.ricoh-imaging.co.jp](http://www.ricoh-imaging.co.jp)

報道関係のお問い合わせ先 株式会社リコー 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通)

お客様のお問い合わせ先 リコーイメージング お客様相談センター TEL : 0570-001313

## <新製品 RICOH THETA SC2 for Business の主な特長>

### 1. 高画質・高品質な 360° の全天球静止画/動画撮影が可能

- ・明るい開放 F 値 2.0 の大口径小型二眼屈曲光学系と最新のイメージセンサーにより、出力画素で約 1400 万画素に相当する高精細な 360° の全天球イメージが得られます。従来機種の RICOH THETA SC から露出精度やホワイトバランスのアルゴリズムを一新し、オート撮影での正確で自然な描写を実現しました。また、イメージセンサーと画像処理エンジンの刷新により、上位機種と同じく 4K(3840×1920 ピクセル)相当、30fps(フレーム/秒)の高画質な 4K 動画の撮影(最大 3 分間)に対応しました。

### 2. ビジネスシーンで活躍する機能の搭載

- ・屋内と屋外の輝度差が大きい室内撮影に適した HDR 撮影の設定で撮影ができるプリセット「Room」を搭載し、電源オン時に毎回プリセットの「Room」で起動します。また、フロントレンズとリアレンズ(シャッターボタン側)のレンズで時間差(Time Shift)をつけて撮影するセルフタイマー機能が使えます。撮影者は三脚などに THETA を固定し、撮影していない方のレンズ側に移動することで、画像に映り込むのを防ぐことができます。

### 3. わかりやすい本体 UI(ユーザーインターフェース)

- ・本体下部に設定モードを示すアイコンや、スマートフォンとの接続状態、バッテリー残量などの情報を表示する状態表示 OLED を搭載しました。また、セルフタイマーボタンを搭載し、カメラ単体での撮影時に便利になりました。

### 4. Bluetooth® & 無線 LAN による接続と高速データ転送

- ・Bluetooth®によるスマートフォンとの常時接続が可能です。Bluetooth®のみ接続した状態でスマートフォンからの撮影ができます。無線 LAN 接続では、スマートフォンでのライブビュー表示や画像転送など全ての機能が利用でき、撮影シーンに応じて使い分けが可能です。
- ・従来はデータ転送時に行っていた天頂補正を再生時に実施する仕様に変更し、動画の転送速度を従来機種 RICOH THETA SC の約 4 倍<sup>注3</sup>に高めています。

注3: 同サイズのデータを iOS デバイスに転送した際の、「RICOH THETA SC」との比較実測値。リコー調べ。

### ＜RICOH THETA SC2 の主な仕様＞

撮影距離	約 10cm～∞(レンズ先端より)
撮影モード	静止画:オート、シャッター優先、ISO 優先、マニュアル 動画:オート
撮影機能	静止画:ノイズ低減、DR 補正、HDR 合成、インターバル撮影、マルチブラケット撮影、セルフタイマー(2 秒、5 秒、10 秒)、マイセッティング プリセット:Room 動画:セルフタイマー(2 秒、5 秒、10 秒)、マイセッティング
露出補正	静止画・動画:-2.0～+2.0EV 1/3EV ステップ <sup>※1</sup>
ISO 感度(標準出力感度)	静止画:オート(ISO64～1600、上限設定可能)、ISO 優先・マニュアル(ISO64～3200) <sup>※1</sup> 動画:オート(ISO64～6400、上限設定可能)
ホワイトバランスモード	静止画・動画:オート、屋外、日陰、曇天、白熱灯1、白熱灯2、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、水中、色温度(2500K～10000K) <sup>※1</sup>
シャッタースピード	静止画:(オート)1/25000 秒～1/8 秒 (シャッター優先 AE モード)1/25000 秒～1/8 秒 <sup>※1</sup> (マニュアルモード)1/25000 秒～60 秒 <sup>※1</sup> 動画:(オート)1/25000 秒～1/30 秒
記録媒体	内蔵メモリー:約 14GB
記録可能枚数、時間 <sup>※2</sup>	静止画:JPEG 約 3000 枚 <sup>※2</sup> 動画(1 回の記録時間):最大 3 分 <sup>※3</sup> 、 動画(合計記録時間):(4K)約 32 分、(2K)約 115 分 <sup>※2</sup>
情報表示パネル <sup>※4</sup>	0.5 型有機 EL(OLED)パネル 60×32ドット、明るさ自動調整
電源	リチウムイオンバッテリー(内蔵) <sup>※5</sup>
電池寿命	静止画:約 260 枚 <sup>※6</sup> 、動画:約 60 分 <sup>※6</sup>
画像ファイル形式	静止画:JPEG (Exif Ver2.3) 動画:MP4(映像:MPEG-4 AVC/H.264、音声: AAC-LC(モノラル))
外部インターフェース	MicroUSB:USB2.0
外形・寸法	45.2mm(幅)×130.6mm(高さ)×22.9mm(17.9mm <sup>※7</sup> )(奥行き)
質量	約 104g
レンズ構成、F 値	6 群 7 枚、F2.0
撮像素子、サイズ	1/2.3 型(×2)
有効画素数	約 1200 万画素(×2)、※出力画素 約 1400 万画素
静止画解像度	5376×2688 ピクセル
動画解像度/フレームレート/ ビットレート	4K:3840×1920/29.97fps/54Mbps(High),32Mbps(Low) 2K:1920×960/29.97fps/16Mbps(High), 8Mbps(Low)

※1 マニュアル設定にはスマートフォンが必要です。

※2 枚数および時間はあくまでも目安です。撮影状況により異なります。

※3 連続して撮影を行うなど、内部温度が上昇した場合は自動終了します。

※4 各種設定などの情報を表示するパネルです。撮影した画像は表示できません。

※5 付属の USB ケーブルでパソコンに接続して、充電してください。

※6 撮影可能枚数および時間は当社測定方法による目安であり、使用条件により変わります。

※7 レンズ部を除く。

•IOS は、米国およびその他の国における商標またはシスコの登録商標であり、ライセンスのもとに使用されます。

•Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, INC.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

•その他記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

•仕様、デザインなどは予告なく変更する場合があります。

---

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2019年3月期、リコーグループ連結売上は2兆132億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>